

## 大学アメリカンフットボールの試合における危険プレー報道に伴う県内競技団体への影響について

### 1. 各競技団体への影響

日本大学アメリカンフットボール部の危険なプレーが競技団体の活動に与えた影響について電話とメールにより聴き取りを実施した。

#### ◇滋賀県アメリカンフットボール連盟

- ・活動に支障は出ていない。
- ・青少年への普及活動を行う際、学校関係者や保護者の御理解を得られなくなることを心配する声が連盟内にあった。
- ・平成30年5月26日付けで中央競技団体から発出された「フェアプレイ宣言について」を関係機関に周知した。

#### ◇滋賀県ラグビーフットボール協会

- ・活動に支障は出ていない。
- ・自分たちの日々の指導や組織の在り方を振り返る機会となったという声が協会内にあった。

#### ◇滋賀県高等学校体育連盟

- ・アメリカンフットボール専門部およびラグビー専門部ともに活動に支障は出ていない。

### 2. 県としての取組

- ・競技力向上対策本部では、6月に行った対策委員会で競技団体や学校関係者（校長会・体育連盟）に対し、指導者の倫理的な面での意識啓発などの必要性について改めて周知した。
- ・今後11月と2月に開催を予定している競技団体の指導者を集めた「強化スタッフ会議」において、「スポーツ倫理」や「スポーツの高潔性」・「体罰防止」などの観点で研修を行うこととしている。
- ・県教育委員会は、中学校・高等学校の運動部活動指導者を対象に、部活動の教育的意義を確認するとともに、体罰の根絶を目的とした研修会を年間2回実施し、科学的・効率的な指導法の習得や意識改革に取り組んでいる。